

## 研究に関する情報公開文書

### 研究課題名：当院における成人T細胞白血病・リンパ腫症例に関する調査研究

#### 研究の目的と方法

私どもは、成人T細胞白血病・リンパ腫（以下ATLと略します）をより正確に理解し、ATLの発症予防法やより良い治療法を開発することを目指しています。ATLの8割を占める急性型・リンパ腫型ATL（以下アグレッシブATLと称します）に対しては様々な治療が開発されましたが、その治療成績は望ましいものではありません。一方、同種移植（同種骨髄移植、同種末梢血幹細胞移植、臍帯血移植）はドナーさんの免疫力による治療効果が期待でき、治癒を目指すアグレッシブATL患者さんにおいて標準治療と考えられています。

しかし、同種移植を実施できる患者さんは限られており、上記のとおり、現在同種移植を施行できなかった場合の患者さんに対する治療としては従来の化学療法だけでは治療成績は十分なものではありません。近年、モガムリズマブ、レナリドミド、ツシジノスタット、バレメトスタットといった新規薬剤が使用されており、その有効性が期待されていますが、実臨床における検証は不十分です。

今回、当院で加療を受けられたATL患者さんを後方視的に検討することで、その治療効果、有害事象、移植の有無による治療成績、予後の違いなどを明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

#### 対象としている患者さんをご協力いただきたいこと

2004年4月～2023年2月に当院で診療を行なったATL患者さんを対象としています。

ご協力いただきたいことは、本研究のために、当院で保管されている診断時情報・理学所見・血液検査所見・画像検査所見・治療内容とその効果・有害事象の有無・再発の有無などを収集・利用させていただきます。

あなたの個人情報を保護するため、情報には研究用IDのみをつけて管理し、研究に利用します。個人を識別する情報と研究用IDを記した対応表は、個人情報保護管理者が厳重に管理します。

情報が本研究に用いられることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

#### 研究期間

2020年4月1日 ～ 2025年3月31日

#### 研究体制

研究責任者：

氏名 神保光児 所属 東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科 職名 医員

研究分担者：

氏名 南谷泰仁 所属 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 造血病態制御学分野

職名 教授

氏名 内丸 薫 所属 東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科 職名 非常勤講師  
大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 病態医療科学分野 職名 教授  
氏名 横山和明 所属 東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科 職名 准教授  
氏名 佐藤亜紀 所属 東京大学医科学研究所附属病院・血液腫瘍内科 職名 助教  
氏名 福山朋房 所属 東京大学医科学研究所附属病院・血液腫瘍内科 職名 助教

これは現在の研究体制であり、研究の進展に伴って共同研究機関が増える可能性があります。

## 研究結果の公表

本研究で一定の成果が得られた場合、研究結果を専門学会、学術専門誌を通じて発表させていただきます。その際、あなたの氏名等が公表されることは一切ありません。また、他の研究者による研究成果の検証可能性を確保するために、東京大学医科学研究所では「東京大学医科学研究所生命科学系研究データ保存のガイドライン」を策定しております。これに基づき、発表後も情報を東京大学医科学研究所に長期間保存させていただくことをご了承ください。

## その他

- ・ ご希望があれば、研究計画書の内容をご覧くださいことができますので、後掲の研究責任者である神保光児までご連絡ください。
- ・ この研究に関する費用は、運営費交付金から支出され、特定の企業や団体からの資金援助は受けておりません。政府倫理指針及び東京大学医科学研究所利益相反ガイドラインに則り、本研究の利益相反関係は、東京大学医科学研究所に設置されている利益相反アドバイザー室及び倫理審査委員会にて確認しております。
- ・ この研究は、東京大学医科学研究所倫理審査委員会で承認され、所長・病院長の許可を受けております。

以上の点をご理解いただいた上、研究へのご協力をお願い申し上げます。なお、ご質問等があればご遠慮なくお尋ねください。

### <ご質問・苦情等に関する連絡先>

研究機関名	研究責任者	職名	電話番号
東京大学医科学研究所 附属病院血液腫瘍内科	神保 光児	医員	03-3443-8111(内線 72738)